



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

# 松本純 まちかど 政治瓦版



令和2年12月1日号  
発行  
かながわ  
1区支部  
発行責任者  
平木 茂  
12月号  
2020年  
No.216

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

新型コロナウイルス

## 感染防止対策に尽くします!

進むワクチン確保

2021年6月末をめどに国民全員分の確保をめざします

新型コロナウイルスの感染拡大が再び大きな問題になっています。政府としては、秋以降の感染拡大に備え医療体制の充実や医療用品の確保を進めてきましたが、不十分な点も多く、ご迷惑をおかけしています。

日本政府は、この問題の根本的な解決にむけて、治療薬やワクチン開発の支援と有望なワクチン候補を持つ製薬会社と契約等を進めてきました。

すでに、ファイザー社(2021年6月までに6000万人分)、モデルナ社(6月までに2000万人、合計2500万人分)アストラゼネカ社(3月末までに1500万人、合計6000万人分(2回接種となった場合の人数))との契約や基本合意を済ませており、早ければ2021年6月末をめどに国民全員にいきわたる量を確保できる予定です。

臨時国会において、予防接種法を改正し、国負担で接種できるようにし、同時に副反応や健康被害等に関しても国が責任を持つ体制を構築します。また、接種は、医療従事者、感染後の重症化リスクが高い高齢者や基礎疾患を持つ人を優先することになっています。尚、具体的な接種の実施内容に関しては、専門家会議などで議論を行い、今後決定してゆきます。そして、これは義務ではなく接種を受ける方の意思が尊重されるものであり、希望されない方は接種する必要はありません。そして、これらのワクチンは海外のものですが、日本国内でもワクチン候補の開発と治験が開始されており、こちらに関しても、今後、その結果などを見て承認してゆく予定です。

来年6月末をめどに全ての国民に提供できる数量が確保される予定のこれらのワクチンですが、持続性などについて、まだ、未知数の部分もあり、安全性や効果等の分析も同時進行で進められる予定です。現在出ている新型コロナワクチンの治療結果では、発病予防や重症化予防などに関する一定の効果が確認されているものもあります。

現在、政府と党が一丸となり、ワクチンだけでなく、景気経済対策まで含めた総合的な政策を随時追加策定しており、来年1月の通常国会には第三次補正、そして、コロナ対策を含む令和3年度予算等を提出する予定になっています。

### 海外で開発されたワクチンの確保に関する取組

#### 正式契約を締結したもの

##### モデルナ社(米国)との契約(10月29日)

- ・新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、武田薬品工業株式会社による国内での流通のもと、来年上半年に4000万回分、来年第3四半期に1000万回分の供給を受けることについて両者と契約を締結。

#### 協議・合意が公表されているもの

##### ファイザー社(米国)との基本合意(7月31日)

- ・新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、来年6月末までに6000万人分のワクチンの供給を受ける。
- ・今後、最終契約に向けて協議を進める。

##### アストラゼネカ社(英国)との基本合意(8月7日)

- ・新型コロナウイルスのワクチン開発に成功した場合、来年初頭から1億2000万回分のワクチンの供給(そのうち3000万回分については来年の第一四半期中に供給)を受ける。
- ・今後、最終契約に向けて協議を進める。

#### このほか、国内生産が計画されているもの

ノババックス社(米国)~武田薬品工業株式会社が提携して日本国内でワクチン生産を予定(8月7日)

いま地域で  
(人・まち・出来事)

## 由緒ある劇場で、磯子文化を発信中！

杉田劇場（磯子区民文化センター）館長 中村 牧さん（磯子区）



中村館長はピアニストとしても活躍中

JR線「新杉田」の駅前ビル「らびすた新杉田」にある「杉田劇場」は、2005年(平成17年)2月にオープンした磯子区文化の拠点です。正式名は「横浜市磯子区民文化センター」。愛称の「杉田劇場」は、その歴史に愛着を持つ区民からの公募で決まりました。昭和21年元旦、焼け野原が広がる中、旧「杉田劇場」は、海沿いの飛行機工場跡地に誕生しました。当時8歳の美空ひばりさんが初舞台を踏むなど、劇場が地域の人々の夢を育んだのです。

現館長の中村さんは(公)横浜市芸術文化振興財団で、横浜みなとみらいホールや杉田劇場の立ち上げに携わった「21世紀」横浜文化行政の推進役。就任当初は女性が管理職の館長なんて、などの批判もありましたが、「地域と一緒にできること」をモットーに、持ち前の努力と明るさで磯子文化の掘り起こしと発展に努められています。仕事をする中で一番の喜びは2006年から劇場主催で始めた子供から年配の方々約50名がリコーダー演奏をする「杉劇リコーダーズ」の活動。中村さんもピアノ伴奏者として出演、公演チケットはいつも完売とのこと。今年はコロナの影響で一時的閉館を余儀なくされましたが、来年は新しい朗読歌劇『マダムバタフライ』《1月9(土)・10(日)全4公演》で新年の幕開けを計画中です。「由緒ある杉田劇場で地域の皆さんの文化を育てたい」と明るい笑顔が印象的でした。(問合せ先：杉田劇場 045-771-1212)

【2020年11月】

松本議員の活動記録

- 2日●参議院幹事長室挨拶
- 4日●在ギリシャ日本大使就任挨拶
  - 日本薬剤師連盟令和2年度全国会長・幹事長拡大会議
  - 神奈川県タクシー協会要請
- 5日●中小企業庁説明/令和3年度の税制改正や事業承継税制について
  - 東京薬科大学益山光一教授を囲む懇談会
- 6日●社会保障制度調査会医療委員会

- 10日●JR東日本説明
- 11日●国税職員の定員確保等に関する陳情懇談会
- 16日●横浜市説明/横浜市金沢区の旧長浜検疫所1号停留所(厚労省所管施設)について
  - 厚生労働部会薬事に関する小委員会
- 19日●本会議/予防接種法他4件採決等→参議院送付
  - 自由民主党政令指定都市議員連絡協議会・議会議員連盟代表者会議/会長として出席



11/2 国税労働組合総連合、東京国税労働組合推薦状手交 ●小沼寛明中央執行委員長並びに東京国税労働組合の豊間根純執行委員長と幹部役員が来館、推薦議員として推薦状の手交を受けました。



11/2 横浜薬科大等教育懇談会 ●都築学園の皆さんと麻生太郎副総理の教育懇談会に出席しました。様々なご意見を伺いました。



11/11 自整連神奈川1区「政経研究会」●自動車整備事業磯子金沢支部・新倉等支部長、小川謙司運営委員長・磯子金沢政連支部長らが参加され、有意義な議論に併せ、県自動車整備団体の要望が提出されました。



11/16 横浜市薬剤師会取材 ●寺師三千彦会長が来館され、横浜市薬剤師会会報・令和3年新年号の対談の取材を受けました。神奈川県薬剤師連盟川田哲会長、関水康成常務理事が同席されました。

永田町日記

## 松本純、初の著作が全国発売されます

12月下旬、松本純初の著作である「日本社会の処方箋～20年後の安心のために」が徳間書店から発売されます。本書は、松本の古くからの友人である北里大学客員教授の小曾戸洋先生、国際医療福祉大学大学院客員教授の和田勝先生のご協力の下、薬と医学の歴史と国民保険や介護保険を含む近代社会保障の仕組み、そして、松本が考える未来に向けての提言をまとめた一冊です。医薬と社会保障システムを通史として学べ、今と未来を考える一冊になっています。詳しくは、来月号の「松本純のまちかど政治版」で改めてご紹介させていただきます。

『日本社会の処方箋～20年後の安心のために』  
松本純 著 定価1800円(税別) 令和2年12月18日発売(予定) 徳間書店 発行

